

シンポジウム「中世村落の総合的復原研究―備中国新見荘の歴史と水利―」

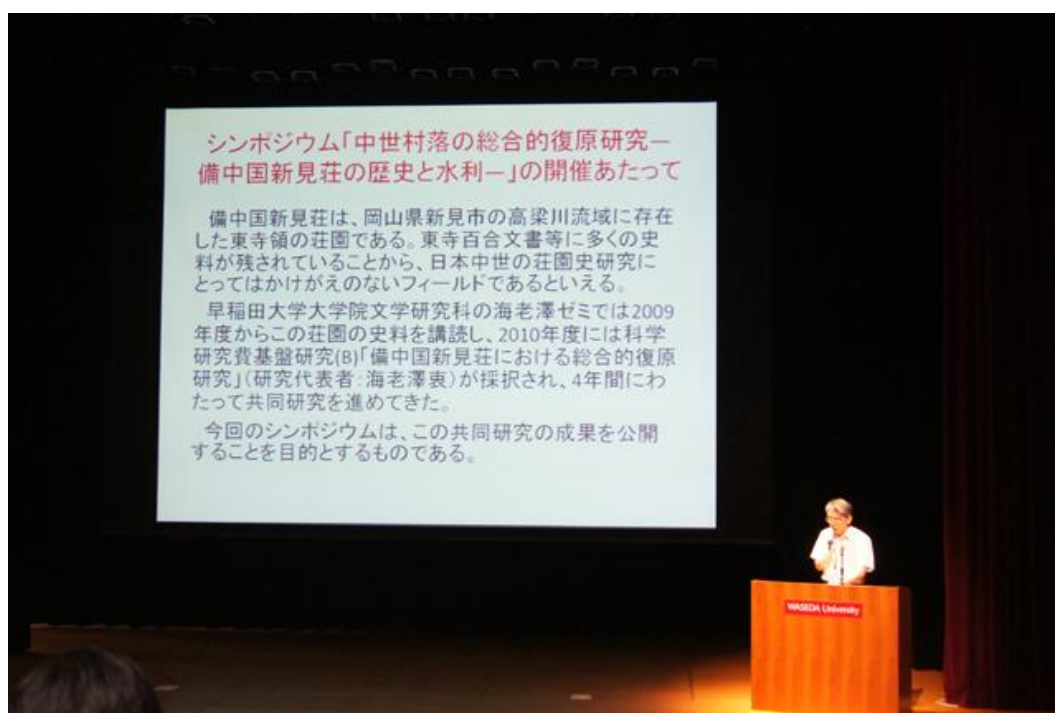
日付：2013年7月13日(土)

会場：早稲田大学 小野記念講堂

2013年7月13日、総合人文科学研究センター（研究部門・トランスナショナル社会と日本文化）と高等研究所(研究エリア・比較文明史)共催セミナー「アジアの水利問題と国家・社会 その3」であるシンポジウム「中世村落の総合的復原研究―備中国新見荘の歴史と水利」が小野記念講堂で開催された。これは科学研究費基盤研究（B）「備中国新見荘における総合的復原研究」の成果発表でもあり、研究代表者海老澤衷の「多層荘園記録システムの構築に向けて」から開始されて、15名の報告があり、現段階における研究成果が明らかにされた。出席者は70名。京都、大阪、神戸、福岡などから参加者もあって、このシンポジウムの広がりを感じられた。パネルディスカッション終了後の意見交換会には33名が参加し、たたら製鉄と中世史研究の関係などに議論が及んで盛り上がった。

報告者とテーマは次の通り。

＜文責：海老澤衷＞



〈基調報告〉

海老澤衷・早稲田大学総合人文科学研究センター所長
「多層荘園記録システムの構築に向けて」

〈第Ⅰ部・新見荘調査の成果〉9時50分～12時10分

白石祐司・新見市教育委員会主事

「新見市たたら再現事業の経緯」

似鳥雄一・早稲田大学文学学術院助手

「室町期の新見荘地頭職・地頭方と新見氏」

貫井裕恵・早稲田大学文学研究科博士後期課程

「中世後期における御影供執事役について」

大澤泉・宮内庁書陵部臨時職員

「備中国新見荘の経営と地域社会」

宮崎肇・早稲田大学文学学術院非常勤講師

「新見荘田所職文書案をめぐって」

川戸貴史・千葉経済大学経済学部専任講師

「代銭納制再考」

清水克行・明治大学商学部准教授

「室町期荘園における庄主群像」

〈第Ⅱ部・新見荘研究の現在〉13時～15時55分

酒井紀美・茨城大学教育学部教授

「中世在地社会と徳政」

高橋敏子・東京大学史料編纂所准教授

「中世百姓の身分意識」

高橋傑・慶応義塾普通部教諭

「新見荘の下地中分と地頭方の空間構成について」

辰田芳雄・岡山県立朝日高校教諭

「新見荘三職・百姓等注進状に見る在地動向」

伊藤俊一・名城大学人間学部教授

「応永末～寛正年間の水干害と荘園制」

〈第Ⅲ部・パネルディスカッション〉16時15分～17時50分

「新見荘の未来ー共同研究とたたらへの伝承ー」

司会 海老澤衷 パネリスト 井上聡・東京大学史料編纂所助教
清水亮・埼玉大学教育学部准教授
藤井勲・新見庄たたら伝承会代表